

春の銀河と今後の天体撮影の課題



先日、峰山のテッペンにて撮影したしし座のトリオ銀河です。

4月上旬は天候に恵まれませんでした、新月期の頃を計ったかのように良い天候に恵まれましたので、例によって峰山の某駐車場まで行って来ました。最近復活させた EOS 50D での撮影も安定してできるようにする為のテストの意味合いもこめて。

が、「オートガイダーのキャリブレーションが上手くいかない」「キャリブレーションできても、ガイドが安定しない」「薄雲ががが」などと頭を抱えていましたが、出来上がった画像はまあまあそこそこマトモだと思えるような出来ではありました。が、やっぱり課題も幾つか見えてきたので、そのあたり今後注力していきたいところです。

今後の課題：

- オートガイダーの更新

現在のオートガイダーの感度に少々不満が出てきたので(全く使えないと言う訳でないのが面倒)、今流行の小型高感度ガイダーに変更したいところ。(ガイドシステム周りの軽量化とガイド精度の向上の意味も含め)

- フラット処理

今まで、フラット処理はフリーソフト「FlatAide」で誤魔化して来ましたが、やはりちゃんとしたフラット処理を行なって、キチンとした強調処理が出来るようにしたい。具体的には、いわゆる EL・LED フラットなんかをやっていききたいですが、まずはスカイフラットで練習かな？

- LRGB フィルター欲しい

今は春の銀河のシーズンですから、やっぱり今持ってる冷却 CCD でも春の銀河撮りたいよね。と言う訳で、LRGB フィルターを入手して、LRGB 合成もそろそろ出来る様にしたいと言う願望。